

2023年3月11日

第11回 教育関連学会連絡協議会総会 議事録

日時：2023年3月11日（土）13時～14時

場所：オンライン Zoom

出席： 39 団体

欠席： 11 団体（委任状 3 通）

出席+委任状＝

（入会承認待ち：2 団体、出欠未回答： 22 団体）

<議事次第>

審議事項

1. 新規の加盟・退会申請 【資料 1】

<新規加盟>

- ・日本部活動学会（2022年10月5日申請）
- ・日本モンテッソーリ協会(学会)（2023年1月31日申請）

これらの団体の加盟は承認された。以上により加盟団体は74団体となった。各学会の代表者による挨拶がなされた。

両学会の加盟は過半数の賛成により承認された。

<退会>

なし

（2 団体加盟、計 74 団体）

2. 規約の改正について 【資料 2】

会計監査について、選定方法、任期、会計年度等について規約に定めることが提案された。監査の選定および承認は本日でなされること、監査が適用される会計年度の開始は2023年1月1日とすることが確認された。規約の改正は過半数の賛成により承認された。監査には教育目標・評価学会より鋒山泰弘氏、国際幼児教育学会より中坪史典氏が選出された。

3. 活動報告と会計報告 【資料 3】

松下事務局長より2022年度会計報告がなされた。

2023年度予算案について報告され、承認された。

4. 活動方針について

(1)繰越金の増加している。シンポジウム等のオンライン公開費に充てることが運営委員会にて提案された。その他の用途について検討したい。

(2)関連協には現在 70 を超える団体が加盟している。そのネットワークを活かして、今後加盟団体同士の連携を促進することが日本保育学会秋田喜代美氏より提案された。そのシンポジウムの開催費に繰越金を充てることも提案された。

5. その他

報告事項

1. 本日のシンポジウムについて【資料 4】

2. 日本学術会議の動向について

学術会議の会員選定のために第三者委員会を設ける新法案が現在準備されているが、独立性について十分に担保されているとは言い難い。内閣府に説明を求めたが不透明である。新法案の採決時期等が不明な状況下で新会員を選定している。

以上の動向を踏まえ、関連協加盟の各団体に学術会議の独立性を支持する呼びかけを行うことが決議された。

3. その他

次回の議題等について

以上